

『絆（きずな）』という 無形の宝物

お彼岸前の台風十五号も、日本列島に大きな爪痕を残していききました。毎年自然災害に見舞われる日本列島ではありますが、特に今年の勢いは「恐ろしい」の一言です。東日本大震災や福島原発の後遺症が癒えるのもまだまだ先の話です。私達と同じ日本人として、息長く支援の心を大切にしていかねばなりません。

ところで山田恭暉（やまだやすてる）さんをご存じですか？私は先月十五日のニュースで山田さんの存在を知る事になりました。彼は「子孫達に負の遺産を残すわけにはいかない」という強い思いから、彼が発起人となり『福島原発行動隊（福島原発暴発阻止行動プロジェクト）』なるボランティア団体を設立されました。ボランティア企画者達は「放射能の影響を受けやすい若者達が、どうして犠牲にならないといけないのか？まるで特攻隊を見ているようだ」とか、「放射能に鈍感な年寄りの出番ですよ」等と語っておられまし

た。そして代表である山田さんは「原発事故を終息させるのは政府でもない、東電さんでもない。我々が何とかしなければ…」と、まさに仏様の様なコメントを発表しておられました。本当に素晴らしい。本当に凄い先輩達だと感服いたしました。どこまでも他人任せではない。ましてや他人の責任でもない。自分自身が行動して、この目の前の現状を少しでも変えていかねばという利他の心が溢れています。これが日本人の和大魂というものではないか！そんな感動と感謝の念に包まれました。九月下旬現在で、全国から志願している行動隊の人数は六百人を超えています。賛助会員の人数は千五百人を超えています。そして寄付金が千百万円以上集まりました。どうかどうか、活動の成功と、身体健全を祈るばかりです。『南無妙法蓮華經 南無妙法蓮華經 南無妙法蓮華經』



《 今年も、あの熱い水行祭が開催されま〜す！ 》

そこで…「平成二十三年度 冬至水行会の御案内」です。

日時…十二月十八日（日曜日）

☆十一時 境内にてテント村オープン

（カボチャスープ無料配布など）

☆十三時 水行祭（真成寺境内にて）



☆十四時（※水行祭が終わり次第）

冬至祈祷会（真成寺本堂にて）

今年のテーマは…『絆（きずな）』

さて、今年の『冬至水行祭&祈禱会』まで約3ヶ月となりましたので御案内をさせていただきます。1年を締めくくるのは、やはり真成寺の『冬至水行祭&祈禱会』です。先述した通り、今年は十二月十八日(日曜日)に開催させて頂こうと思っております。

昨年は百日間の荒修行につき、水行祭は見送られましたが、今年は勿論やりましょう！

公式では、今回で四回目の開催となります。記念すべき第一回開催のテーマは『初心』。第二回開催テーマは『鼓動』。第三回開催テーマは『内観』。そして四回目となる今年のテーマは『絆』に決定しました。

今年は三月十一日の東日本大震災を皮切りに、台風などの自然災害で被害に遭われた方々が数多おられます。そして今なお復興へ奔走しておられる方々も数知れず。

【つながろうニッポン】・【がんばろうニッポン】というステッカーが街中や、道行く車などいたる所で目にします。人間と人間が双方お互いに関わり合う時、はじめてそこに【絆】という無形の宝物が生まれるのでは

ないでしょうか。

私達日本人の強さは、奇しくも東日本大震災によって痛感する事になりました。見ず知らずの他人同士が一緒に協力し、お互いを支えながら乗り越えていけるのが、日本人なのだと確信しました。災禍の中にあつて暴動を起こすことなく、共に声を掛け合い助け合う様子、給水、整然として秩序を保ち、電話の順番を静かに待つ様子、母子の身体が冷えないようにと他の方々で取り囲んで暖める様子など、数え上げればキリがないくらい素晴らしい光景を目の当たりにしました。未曾有の状況下においてもなお、和を重んじて行動する日本人に対して、海外の方々は驚嘆し、賞賛しました。自分の国ではとてもそうはいかない、と。私はそんな日本や日本人を誇りに思います。そして自分がその一員である事に喜びを感じます。幾度もの危機を乗り越えて来た日本人が、無形の宝物、そう【絆】という宝物を携えて、今回もまた、みんなで乗り越えていく事ができると信じています。

そうです！元氣な人も、被災者も、私達日本人は【絆】という宝物を築く事で、みくんなが1つの大きな和にな

れるのです。日本は『大和の国』なのですから。

そういう思いから、今年は『絆』というテーマで、皆の心が1つになれるように、水行祭ならびに祈禱会を開催する運びとなりました。

皆様1人1人の活力が湧くように。元氣が出るように。皆さんのパワーを1つに結集して、地域を、そして日本を、これを読んで下さっている皆さんで盛り上げましょうよ。1人でも多くのお参り、魂を交流させる水行祭へのご参加を心よりお待ちしております。

また、今年は午前十一時から境内にてテント村をオープンさせたいと思っております。寒い時期ですし、冬至と言えば「カボチャ」という事で、真成寺からは参詣された皆様には無料で〈真成寺の自家製カボチャのスープ〉を振る舞わせて頂きたいと思っております。そのスープの調理を担当するのが、高木康史さん(姉の夫)です。乞うご期待下さい。

☆また当日は、境内にてテント村を用意しておりますので、食べ物でも、お野菜でも、小物でも、正月飾りでも、フリーマーケットでも、何か持ち寄り市のような形ができれば良いなあとも考

えております。

心ある方は遠慮なく気軽に真成寺に連絡下さいネ。どうかご検討のうえ、宜しく願います。

★水行祭参加者と、

テント村への出店者を

大募集します★

来月号も十二月十八日(日)の御案内と、ご連絡を掲載いたします。

副住職 谷川寛敬

